

## 質問コーナー「教えて！大豆生田先生！」におけるQ&A

### Q1 コロナ禍でも楽しめる、幼児との秋の遊び

A1 季節がよい時は外遊びをおすすめしたいです。ポリ袋1枚持って出るだけでいいんです。

子供にとって、色々なものを拾ったり、とったりすることが大事なので、入口を大きくした透明のペットボトルを持っていくと、中身が外から見えるし、秋の葉っぱなどを入れるとそれだけでテンションが高まります。

### Q2 1歳8ヶ月の息子がいます。ひとり遊びはまだ苦手で、家事をしようとするのだっこをせがんだり、泣いたりします。ついテレビを見せてしまうのですが、テレビ以外のものにも熱中してほしいです。どのように促せば楽しくひとり遊びするきっかけが作れるでしょうか。

A2 家の中で過ごす時間が多くなり、メディアやゲーム漬けになってしまいがちですが、そうでないものにもきちんと時間をとりたいと思われることはとても大事だと思います。

我が家では、家の中に、子供たちが何かを作ったり、書いたりできたり、ブロックが取り出せたりできる保育室のミニコーナーのようなものを作っていました。時期によって内容を少しずつ変えていきましたが、置いておくだけでも遊びのきっかけとなります。

散らかりますが、子育て中は散らかるのはアートと思きましょう。

また、「よいおもちゃって何？」とよく聞かれますが、保育の経験からして、子供たちにとって、一番おもしろいものは、可塑性があるもの、色んなものに変化する可能性があるものだと思います。ボタンを押すと音が出るおもちゃは、その遊び方しかできませんが、例えば、空き箱や自然の中の葉っぱ、石ころは色々なものに変化する可能性があります。

外に出て、無理に遊ばせようとするのではなく、ゆっくり歩いたり、立ち止まってみるのが大切だと思います。

### Q3 おもちゃを出してきては次のおもちゃに注意がいき、集中して遊ぶ事ができません。また、片付けないまま次々出してしまう、見ている親は常に「片付けようよ」と誘うばかりになってしまい、ゆっくり一緒に遊びを楽しむ時間にならないのが悩みです。このような場面で、親はどういう声かけや誘導をしていけばいいのでしょうか。

A3 一つのことに熱中するタイプの子もいれば、色々なことをしたい子など、色々なタイプの子がいますよね。その子がやり始めたことに付き合ってみて、親が「これ、こんなふうにもできるんだ。」と気付くと、そこから、子供も注目し直すということも出てきます。たまにはそんなことをしてみてもいいかもしれません。

それから、日本ほど子供に「片付け、片付け。」という国はないそうです。欧米の保育の場を見ても、大人が片付けていることが多いようです。そう考えると、「ママが片付けるからね。」と少し緩いくらいでもよいかもしれません。

### Q4 3歳の息子が、こちらが何度注意しても同じことを繰り返します。気づけば、「〇〇しない！（ドアで遊ばない、お店の物を触らない、妹を押ししたり叩いたりしない、など）」の指示（注意）ばかりで、乳児期にしつけが足らなかったせいか、大きくなってからは怒って注意するばかりです。このまま続けていって良いか不安です。どのような声掛けをしたら、伝わるでしょうか。

A4 どんな子供も多かれ少なかれそうですし、親がイライラせざるを得ない状況・環境は今の社会には多々あると思います。

子供に、注意しなくてもよい場所を優先的に選ぶのも一つの方策かもしれません。

私の場合、子供が、スーパーに行くのが大変な時期は、もう、スーパーに行かず、怒らないですむ場所、なんでもし放題の場所を選んで行くようにしていました。

小さい子供は困ったことをするものですから、その行為がなるべく問題にならないような場を選んであげることが大事です。この時期はそんなものと思ったほうがいいです、厳しすぎるしつけは逆効果です。

**Q 5 最近6歳の息子が、とても反抗的です。私が言うことに対して（「これ食べてみて」や「お片付けて」など）、「分かったよ！（強い口調）」や大きなため息、また、睨んだ表情などをして返してきます。親に対して我慢せず、自分の思いを素直に出してくれることは喜ばしいと頭では分かっているが、いざ目の前でそのような態度を取られると、イライラしてしまい、こちらもきつく言ってしまう。上手く付き合うためには、どうしたら良いでしょうか。**

A 5 質問者の方はよくわかっていらっしゃると思います、これは成長、この時期のとても特徴的な姿です。「自分でここまで反論できるって、立派。」と思います。ただ、そのことにイライラしてしまうというのであれば、私だったら、「すごい！そんなこと言えるようになったんだ。」とか、「お父さんにそんなふうに言ってくれるって嬉しいな。」と返すかな。

2歳前後の反抗期もそうですが、この時期の特徴的な姿ですので、「嵐が過ぎ去るのを待つ。」というのも大事なことで、そんなふうにも思ってもらったらいいかなと思います。

**Q 6 小学校低学年の長男が、下校時や登校前など機嫌が悪く親にあたることがよくあります。暑い中登校して何時間も頑張っているのは分かるのですが、どこまで許容したらよいのか悩みます。暴言を吐いたり、服をわざと脱ぎ捨てたり、その都度注意するとなると常に小言を言い続けることになるのでどこまで相手をしたら良いか、困っています。**

A 6 親側からするとストレスですが、子供側からすると、この行為がどういうことか考えると、親に感情をぶつけるということは学校の中で、ストレスがあるのかもしれませんが。そのイライラを親にぶつけることができるということは、「親に対して甘えることができている。」「親に対してメッセージを出している。」ということかなと思います。「今、自分は嫌なことがある、つらいことがある。」というメッセージを親に対して出しているのかなと。そのように思うと、「親をととても信頼しているのかな。」としてみるのも一つかなと思います。

**Q 7 いい先生ってどんな先生ですか。**

A 7 （講演の中で紹介したエピソード中で使った「いい先生」とは）子どもの気持ちに向き合おうとしている先生という意味です。その子がどう思っているのか、その子が今、どういう思いをしているのかを大事にしようとしている、受け止めようとしている先生のことを言いました。

**Q 8 1歳3ヶ月の子どもと3ヶ月の子供がいます。上の子のかんしゃくがひどくて、どう対応したらいいか困ることがあります。どうしたらいいでしょうか。**

A 8 2, 3歳離れている兄弟には、すごく多いことだと思います。下の子にすごく手がかかるのに、上の子が下の子を叩いたり、赤ちゃん返りをしたり、お兄ちゃんなのに思うようにしてくれない。上の子に対し、「わかってよ。」という期待が大きい分だけ、上の子に全ての思いがいつてしまうということは多くあると思います。そんな時は、「上の子と、二人だけのスペシャルな時間を作ってみてはどうか。」と提案をしています。特にママたちは、下の子優先になってしまっていますが、下の子を半日だけでも、他の方に預かってもらい、その子（上の子）とだけの時間をちゃんととるという

こと。

その子が、「自分だけのための時間をきちんととってくれている。」と感じるということが大事です。そういったことをしてみると、「自分の方に向けてもらえた。」と、子供の側が変わって、親自身も上の子へのイライラが減るのではないのでしょうか。

**Q 9 泥遊びで洋服が汚れると嫌がる保護者の方がいます。汚れた服は水洗いをして返すようにしていますが、子供は「ママに怒られるから。」と汚れを気にしながら遊ぶようになっています。思いっきり遊ばせてあげたいです。**

A 9 この時期の子供にとって、「ぐちゃぐちゃ」、「どろどろ」などの「混沌の経験」はすごく大事、しかも体全体を通してそういうことをすることが大事です。人の発達の中で「混沌から秩序へ。」というプロセスがあります。「ぐちゃぐちゃ」から、何か一つのテーマ性に行くということがとても大事なことです。「遊びは学び」を伝えるということは、具体的に、「子供がこんなに大事な経験をしている。」ということをあの手この手で保護者の方に伝えることで、わかってもらうということかなと思います。

簡単なことではありませんが、やはり「対話」が必要で、保護者を含めて、子供を真ん中にして子供を育てていくということが大切かなと思います。理屈で説明する仕方もありますが、「子供がこんなに幸せだ。」ということや、泥が嫌いだった子が好きになって、こんな素敵なことをし始めているということを通して説明していくことも一つかなと思います。

**Q10 保育園の集団生活では個性にあわせてや、一人一人のペースに合わせて関わったり、待ってあげ  
る時間をとれなかったりする時があります。集団を意識すると難しい場面がよくあります。**

A10 みんながいる場だからこそ、まねっこが起こって、「自分もこんなものが作ってみたい。」などの育ち合いが起きやすいという意味で、集団生活が大事であると同時に、現在の日本の制度では、結構な数の子供を、一人の先生が保育しなければならないという実態があります。

毎日、全員のことをまんべんなく見ることは難しいですが、一人一人を見ようとする保育をされることが大事であり、個々の子を丁寧にみつつ、全体を見つつ、ということが大事であると思います。

**Q11 1歳3ヶ月の娘が、特に寝る時などに父親を「いや」と拒否します。母親との関わりがいいんだ  
ろうなと思うものの、父親は「いや」と言われ、苦笑いしています。子育てに関わろうとしている  
のに、拒否され気持ちが萎えないか心配です。父親の子育てのモチベーションを保つのが大変です。**

A11 父親に関わるのに得意な場面はないのでしょうか。例えば、体を使って遊ぶ時や、怖い絵本を読むときはパパの出番にして、その時に、子供が大好きなママが「この絵本なら絶対パパが読んだらおもしろいよ、パパってすごいんだよ。」ということは、結構効果があります。

パパも成功体験を一つずつ積み重ねていき、「ここはパパの出番だ。」ということが増えていけばよいのではないのでしょうか。また、パパと二人だけの時間を少しずつもつのもよいのではないのでしょうか。

**Q12 上の子（8歳）が下の子（2歳）への当たりがきついです。足を踏まれただけで「痛い！ごめん  
なさいは！？（怒）」無理やり、形だけで誤っても意味はないことを、上の子に伝えるのですが、  
納得できないようです。とはいえ、外の世界では、納得できなくても形だけでも謝るのも社会であ  
る気もするし、どう教育するべきでしょうか。**

A12 「お兄ちゃんががんばっているね。」とか、「お兄ちゃんいつもありがとう。」と、その子のいいとこ

ろからアプローチするのも一つかなと思います。もちろん、8歳の子供ですから、「自分が反省しているときはちゃんと謝る。」と伝えることも大事ですが、上の子が下の子にあたる、ということが大きい問題であれば、私であればそういうアプローチをしてみます。

**Q13 時代が変化している中で、母親が働いている状況も増えていると感じています。支援者として保護者へ遊びの大切さをどのように伝えたらよいでしょうか。忙しく、家でなかなか子供と遊べないと言われることがあります。**

A13 支援者が本当にありがたい存在だと思うのは、『こうあるべき』をお伝えしてくれる人」というより、子供が今、目の前でやっていることを、「こういうことが大切だよね。」とか、「ママのこんなやり方が素敵だよね。」と伝えてくれることです。それが、結果的に、「こういう子供の姿が大事なんだ。」とか「私自身のやり方も悪くないんだ。」というように前向きになっていく側面になるのかなと思っています。

**Q14 1歳児クラスで2歳を迎えた男の子、目に見えた遊びを次々始めるのですが、友達が遊んでいるおもちゃを取りケンカになったり、部屋の外が気になると飛び出して行こうとしたり…注意する事が多くなってしまいます。この子らしさを大切にしたいのですが悪循環になっていると痛感します。**

A14 例えば、「この子はシールが貼ってあると、ここでゆっくり遊ぶことができる。」とか、「このおもちゃだと集中して遊ぶことができる。」というような、いくつかこういうふうにすると落ち着いて遊びやすいということを、親も含めて模索していくしかないと思います。

絶対効果的ということがあるわけではありませんが、園の体制がかなうのであれば、その子が外に飛び出した時にも、外でちゃんとケアできるような体制がとれればいいですが、それも難しい実態があります。その子が落ち着いて遊び込めるような体制をどう探していくかというところを保護者とも相談しながら探していくことではないでしょうか。

**Q15 近年の教育においては、喜怒哀楽の中の「怒り」の感情を「悪」という風潮がありますが、「怒り」の感情を出し合いぶつかりあうことも大切ではないかと思いますがいかがでしょうか。**

A15 子供との関わりに関しても、感情をそのまま子供にぶつけることはいいとは言いませんが、そういうことも人の生活の中にはありますし、子供同士の喧嘩やトラブルも子供の発達において、これまで大切にしてきたことであると思います。そういう意味ではおっしゃるとおりかと思います。

**Q16 3年保育で色々なタイプの子供が存在している園に入園した女児がいますが、ひっかき傷や噛み傷を作って帰ってきました。集団生活の中で、子供同士の衝突はあるでしょうが、頻発すると、心配です。手を出してくる子供はそのうち落ち着いてくるのでしょうか。**

A16 「こういったことがつらい。」ということ園と話しができていないのであれば、相談されたほうがいいです。園の方でも一緒に考えてくれると思いますので、どのようにしていけるか考えていくことが大事かと思います。